隠れた奈良の魅力再発見

とっておきの奈良 vol.14

緑豊かな清流の里で ものづくりを楽しむ 夏の一日

国栖の里で工房を営む皆さん。「夏休みの思い出に、吉野の自然に包まれて、ものづくり体験はいかがですか」

吉野町国栖（くず）地区

国栖の里観光協会「くにす体験フェスタ」

「和紙ってこうして作るんや」「お母さんも初めてやわ、楽しいね」。子どもたちの歓声に大人の声も弾みます。

吉野山の大自然に抱かれた国栖（くず）の里で、毎年7月に開催される「くにす体験フェスタ」。紙すき、箸づくり、木工、陶芸、ガラス工芸など、様々なものづくりを体験できます。ものづくり体験は、この地で営む工房や店舗が工夫を凝らして用意したもの。たとえば、砂を吹き付けガラスを研磨する「サンドブラストエッチング」では皿などに好きな絵を描き、「箸作り」ではペーパーで磨いて焼きゴテで絵や名前を刻印。「木工」では木肌の色を生かした動物を作ります。陶芸の「手びねり」は実はお父さんに人気だったり、紙すきはお母さんが夢中になったり…。ものづくりの楽しさを家族皆で満喫できます。

「ものづくりの里の魅力を発信したい」と4年前に8つの工房が始めたこのフェスタ。回を重ねるごとに評判が高まり、今では約18の工房・店舗などが参加し、昨年は約300人が訪れる盛況ぶりを見せました。

「皆さんの笑顔が嬉しくて、こちらも力が入ります。毎年来てくださる方もいて、今年はどうしてお迎えしようかとアイデアをひねっています」と語るのは国栖の里観光協会会長の植貞（うえ）男さん。

もちろん、清流の里で開かれるのも大きな魅力。体験の合間には川遊びやバーベキューをしたり、とびきり楽しい夏の一日が楽しめます。

第5回 ものづくりの里　くにす体験フェスタ

＊体験は小学生以上。希望体験日の5日前までに要予約。

時 7月18日(土)～7月26日(日)10:00～17:00

所 吉野町国栖地区の各工房

アクセス 近鉄大和上市駅から、奈良交通バス 湯盛温泉 杉の湯行き(国樔経由)乗車約30分

問 国栖の里観光協会　☎0746･36･6838
http://www.kuzunosato.jp/

国栖は古くからの「ものづくりの里」。紙すきの歴史は約1300年前、大海人皇子が養蚕と共に伝えたという。

吉野山の恵みを生かし、風土の息吹が伝わるような作品たち。

体験工房点在地域
バス停留所

清らかな清流が涼を呼ぶ、深緑の里景色も国栖地区の魅力。

「奈良・もてなしの心推進県民会議」では、生き生きとした生活や交流を育むまちづくりを実践している地区を、「もてなしのまちづくりモデル地区」として認定。吉野町国栖地区もその一つです。